

II 本年度の主な事務事業

1 基幹浄水場連絡管整備事業

(1) 事業概要

本事業は、目標年度を令和10年度として平成15年度から実施している事業であるが、令和4年1月策定の「いわき水みらいビジョン2031（令和4年度～令和13年度）」において、「新・いわき市水道事業経営プラン中期経営計画（平成29年度～令和3年度）」に引続き、主要事業として位置付けた事業である。

平常時の効率的な配水運用を可能にし、さらに災害発生時などの非常時にも安定した給水を確保し、災害による影響（断水）を最小化することを目的として、浄水場水系間で相互融通体制を構築する連絡管等の整備を進め、バックアップ機能の強化を図るものである。

平成20年度には「平・上野原水系幹線」、平成27年度には「平第2配水池」「平ポンプ場」、令和2年度には「平・鹿島水系幹線」（平配水池から中央台ポンプ場まで）の整備が完了した。

令和4年度は2億169万円の事業費で、「鹿島・常磐水系幹線」の新設工事の整備を実施した。

(2) 事業費及び財源

ア 事業費

（単位：千円）

区 分	平成15～令和3年度	令和4年度	合計
配水施設	11,200,635	151,327	11,351,962
平第2配水池新設	1,358,240	0	1,358,240
平ポンプ場新設	1,224,655	0	1,224,655
水系幹線新設	8,617,740	151,327	8,769,067
消火栓施設	3,757	0	3,757
用地費	89,368	0	89,368
測量調査費	612,018	15,147	627,165
補償費	53,244	0	53,244
負担金	964	2,695	3,659
事務費	659,716	32,524	692,240
合 計	12,619,702	201,693	12,821,395

※ 本事業費は後期事業の繰越分（平成20年度からの繰越額 工事請負費 104,281千円、事務費 130千円）は含まない。

イ 財源

（単位：千円）

区 分	平成15～令和3年度	令和4年度	合計
企業債	5,915,400	38,200	5,953,600
国庫補助金	0	0	0
自己資金	3,665,131	86,402	3,751,533
工事負担金	0	0	0
他会計負担金	3,757	0	3,757
他会計出資金	3,035,414	77,091	3,112,505
合 計	12,619,702	201,693	12,821,395

(3) 令和4年度事業内訳

(単位：千円)

区 分	事 業 費	施 行 内 容
1 配水施設 水系幹線新設	151,327	配水施設 鹿島・常磐水系幹線新設工事（第6工区） φ 700mm L = 449m
2 消火栓施設	0	
3 用地費	0	
4 測量調査費	15,147	鹿島・常磐水系幹線測量基本設計（泉水系接続）
5 補償費	0	
6 負担金	2,695	重複施工部の舗装復旧費に伴う負担金
7 事務費	32,524	
合 計	201,693	

(配水課)

2 老朽管更新事業

(1) 事業概要

ア 老朽管更新事業

本事業は、令和4年1月策定の「いわき水みらいビジョン2031」において主要事業として位置付け、計画的に更新を進めるとともに更新において耐震性の高い管路を採用し、安定給水の確保と耐震性の向上を図ることを目的とした事業である。

管路の更新に当たっては、新たな更新基準として設定した「標準使用年数」や重要度に応じた「延長使用年数」に基づき、100年更新サイクルを目指し、管路の年間更新率 1.0%（約23km）を目標に更新を行っていく。

令和4年度は41億 5,604万 9千円の事業費で、平中山配水管改良工事外62件を実施した。

イ 重要給水施設配水管整備事業

本事業は、災害時においても救急医療機関等の重要な給水施設（重要給水施設）への確実な給水を確保するため、平成28年（2016）年5月に「水道施設耐震化計画（重要給水施設配水管）」（現「重要給水施設配水管整備計画」令和4（2022）年1月に名称変更）を策定し、耐震化された配水池から重要給水施設までの管路の耐震化を図ることを目的とした事業である。

令和4年度は3億 6,922万 6千円の事業費で常磐上湯長谷町配水管整備工事外3件を実施した。
なお、本事業は生活基盤施設耐震化等交付金の対象事業である。

(2) 事業費及び財源

ア 事業費

区 分	令和4年度
更新延長（m）	24,239
事業費（千円）	4,156,049

イ 財源 (単位：千円)

区 分	令和4年度
企業債	1,846,100
国庫補助金	48,644
自己資金	1,638,822
他会計負担金	74,471
他会計出資金	548,012
計	4,156,049

(3) 令和4年度事業内訳

(単位：千円)

区 分	事業費	施 行 内 容
1 配水施設 老朽管更新事業	3,714,020 (369,226)	配水施設 平中山配水管改良工事 外62件 φ 50mm～φ 400mm L=24,239m (常磐上湯長谷町配水管整備工事 外3件) (φ 200mm～φ 400mm L=1,095m)
2 消火栓施設	74,471	81基
3 用地費	0	
4 測量調査費	214,019 (103,578)	配水施設 江名配水管改良測量委託 外19件
5 補償費	20	電線支線の移転工事補償
6 負担金	0	
7 事務費	153,519	
合 計	4,156,049	

(注) () 内は重要給水施設配水管整備事業を内数で示す。

(配水課)

3 令和元年東日本台風による被害と復旧の経過

(1) 概要

令和元年10月12日から13日にかけて本市を襲った令和元年東日本台風（台風第19号、以下「台風」という）により夏井川など市内各地の河川堤防で氾濫が発生し、平地区（平窪、赤井）、好間地区、小川地区などで広範囲にわたり床上浸水や土砂災害等に伴う住家被害が多数発生したほか、基幹浄水場である平浄水場が浸水被害を受けて運転停止となったことから、市内の約3分の1にあたる約4万5,400戸に広域的な断水が発生した。また、勿来地区では、鮫川の氾濫により法田ポンプ場が浸水被害を受けて運転停止となったが、他の浄水場からの融通により、配水区域への給水を継続しつつ、復旧作業にあたった結果、14日には運転を再開した。

平浄水場については、全国の水道事業者をはじめ、自治体、自衛隊、民間企業等の協力を得ながら、組織を挙げて応急給水活動を実施するとともに、応急復旧作業に取り組んだ結果、21日に試験浄水を開始し、浄水処理と運転制御に問題がないことを確認できたため、22日から通水作業に入り段階的に通水エリアを拡大した。25日の豪雨により大久町大久の一部地区で再び断水が発生したものの、27日午後3時をもって通水作業を完了し、全ての断水を解消することができた。

(2) 主な被害状況

ア 取水・浄水施設

- ・ 平浄水場：台風に伴う夏井川氾濫により被災
被害状況：電気設備、ポンプ室、ろ過池及び沈殿池の付帯設備などが浸水
- ・ 下平窪取水場：台風に伴う夏井川氾濫により被災
被害状況：屋内受変電設備、屋内電気計装設備、汚泥引抜ポンプなどが浸水
- ・ 法田ポンプ場：台風に伴う鮫川氾濫により被災
被害状況：屋外受電設備、電気室内電気盤、送水ポンプ電動弁などが浸水

イ 配水施設

- ・ 平窪第2ポンプ場：台風に伴う夏井川氾濫により被災
被害状況：電気計装設備、ポンプ電動機、薬品注入設備などが浸水
- ・ 草木台配水池：台風に伴う豪雨により被災
被害状況：進入路法面崩れ

ウ 耐震性貯水槽建屋

- ・ 好間第一小学校耐震性貯水槽：台風に伴う好間川氾濫により浸水
- ・ 馬場児童公園耐震性貯水槽：台風に伴う新川氾濫により浸水

エ 管路

- ・ 配水管：台風に伴う河川氾濫により被災
被害状況：配水管洗掘2か所及び添架管折れ1か所
- ・ 給水管：台風に伴う河川氾濫及び10月25日の豪雨により被災
被害状況：河川氾濫により漏水3件、豪雨による漏水1件

(3) 災害復旧の進捗状況

取水・浄水施設（平浄水場、下平窪取水場、法田ポンプ場）及び配水施設（平窪第2ポンプ場、草木台配水池）については、令和2年度までに36件の応急復旧工事や緊急業務委託を発注し、全ての工事等を完了した。

管路については、落橋した禰宜内橋の復旧工事に合わせ配水管を添架する工事となるため、応急的な仮設管の工事及び配水管添架に係る実施設計委託を令和2年度に実施し、本復旧工事については禰宜内橋復旧工事の進捗に合わせ令和4年8月に着工し、令和5年4月完了予定である。

なお、耐震性貯水槽建屋については、浸水したものの復旧工事を要する被害は生じなかったことから、配水には影響がなかった。

(4) 災害復旧等に係る事業費と財源

令和4年度は、資本的支出で39,494千円の事業費を支出して浸水対策事業等を実施した。

【上水道・簡易水道合計】

(単位：千円)

	令和元～3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 予算			合計	備考		
			当初予算	繰越等	計				
総事業費	2,003,490	39,494	17,116	39,545	56,661	2,099,645			
(財源) 国庫補助金等	535,568	19,421	0	6,306	6,306	561,295			
(財源) 自己資金	1,467,922	20,073	17,116	33,239	50,355	1,538,350			
事業費の内訳	（収益的収入）	収益的収入	301,111	0	0	0	301,111		
		特別利益	301,111	0	0	0	301,111		
		災害復旧に係る国庫補助金	261,924	0	0	0	261,924		
		応急給水に係る繰入金	39,187	0	0	0	39,187		
	（応急給水・応急復旧）	収益的支出	1,104,867	0	17,116	0	17,116	1,121,983	
		人件費	36,571	0	0	0	0	36,571	
		災害給水・災害復旧・災害対応	36,571	0	0	0	0	36,571	
		特別損失(災害による損失)	1,068,296	0	17,116	0	17,116	1,085,412	
		災害応急復旧費	1,043,600	0	17,116	0	17,116	1,060,716	禰宜内橋関連
		災害応急給水費	24,696	0	0	0	0	24,696	
	（資本的収入）	資本的収入	234,457	19,421	0	6,306	6,306	260,184	
		国庫補助金	229,093	0	0	6,306	6,306	235,399	
		災害復旧に係る補助金	229,093	0	0	6,306	6,306	235,399	禰宜内橋関連
		他会計出資金	5,364	19,421	0	0	0	24,785	
		浸水対策に係る繰入金	5,364	19,421	0	0	0	24,785	浄水場浸水対策委託
	（資本的支出）	資本的支出	898,623	39,494	0	39,545	39,545	977,662	
		施設整備事業費	34,379	38,842	0	0	0	73,221	
		委託料	34,379	38,842	0	0	0	73,221	浄水場浸水対策委託
		災害復旧事業費	864,244	652	0	39,545	39,545	904,441	
		委託料	6,710	0	0	0	0	6,710	禰宜内橋関連
工事請負費		857,534	0	0	39,545	39,545	897,079	禰宜内橋関連	
負担金		0	652	0	0	0	652	禰宜内橋関連	

(経営戦略課)

II 事務事業
本年度の主な

4 新型コロナウイルス感染症対策関係

(1) 概要

令和2年4月16日に、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の対象区域が全都道府県に拡大されるとともに、市内においても感染者が確認されたことなどを受け、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、様々な取組を実施してきた。

具体的には、人と人との接触による感染リスクを軽減させる観点から、浄水場敷地内や各課等への立入りを制限することに加え、水道配水管図の交付等の手続きにおける郵送による取扱いの導入や入札方式について入札当日に来局の必要がない「郵便による入札」への変更を行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、離職や収入の大幅な減少等により生活が困窮する方を支援するため、水道料金・下水道使用料等の支払いが困難な方に対し、支払い猶予について相談に応じてきた。

さらに、職員の勤務体制については、「新型インフルエンザ等に係るいわき市水道事業継続計画（BCP）」に基づき、優先して実施していく業務を見定めた上で、業務に支障がない範囲において接触機会を減らすため、分散勤務や在宅勤務等により、職場単位において職員全員が感染者または濃厚接触者となることを防止する体制を構築し、業務執行体制の確保に努めた。

これらの取組により、市内での新規感染者が急増するなど、感染症の収束を見通すことが困難な状況下においても、感染症対策の徹底を図り、職員の感染防止に努めながら、市民生活に不可欠な水道水の安定供給を維持してきた。

○ 職員の勤務体制

① 分散勤務

ア 水道局本庁舎

各課において、本庁舎、東分庁舎（東側倉庫を改修）及び仮設庁舎（公用車駐車場内に設置）に分散して勤務した。

イ 南部工事事務所

事務所及び仮設庁舎（事務所敷地内に設置）に分散して勤務した。

※ 新型コロナウイルス感染症の感染の動向を踏まえ、令和4年12月28日をもって分散勤務を終了した。

② 在宅勤務

業務で使用している LGWAN接続系端末やテレワーク用タブレット端末を用いて、在宅勤務を行った。

③ 時差出勤

7時30分から19時15分までの範囲内で時差出勤を行い、通勤途上の感染防止と弾力的な勤務体制の確保を図った。

④ 週休日等の活用

週休日や休日等に勤務を割り振り、平日を振替日または代休日とすることで、一日あたりの出勤者を減らした。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策に係る事業費と財源

令和4年度は、収益的支出で10,672千円の事業費を支出して新型コロナウイルス感染症対策を実施した。

【上水道・簡易水道合計】

(単位：千円)

	令和2～3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度予算			合計	備考	
			当初予算	繰越等	計			
総事業費	86,418	10,672	0	0	0	97,090		
(財源) 国庫補助金等	86,418	10,672	0	0	0	97,090		
(財源) 自己資金	0	0	0	0	0	0		
総 事 業 費 の 内 容	収益的収入	43,777	10,672	0	0	0	54,449	
	特別利益	43,777	10,672	0	0	0	54,449	
	その他特別利益	43,777	10,672	0	0	0	54,449	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
	収益的支出	43,777	10,672	0	0	0	54,449	
	営業費用	919	0	0	0	0	919	
	原水及び浄水費	0	0	0	0	0	0	
	配水及び給水費	0	0	0	0	0	0	
	業務費	919	0	0	0	0	919	
	総係費	0	0	0	0	0	0	
	特別損失	42,858	10,672	0	0	0	53,530	
	その他特別損失	42,858	10,672	0	0	0	53,530	
	資本的収入	42,641	0	0	0	0	42,641	
	他会計出資金	42,641	0	0	0	0	42,641	
	他会計出資金	42,641	0	0	0	0	42,641	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
	資本的支出	42,641	0	0	0	0	42,641	
建設改良費	42,641	0	0	0	0	42,641		
施設整備事業費	13,739	0	0	0	0	13,739		
老朽管更新事業費	0	0	0	0	0	0		
施設更新事業費	14,399	0	0	0	0	14,399		
固定資産購入費	14,503	0	0	0	0	14,503		

(経営戦略課)

II 事務事業
本年度の主な

